Ä

屋上フェンス・ 備補助制 外づけ 階段等 度 及を創設 が対象

副委員長を互選した後、議 べきもの、陳情は趣旨不|費に対し一定の補助を行う|場所面積に一平方洋当たり また、①救急ワークステ 承と決定した。 総務常任委員会は、六月 議案は可決 上フェンスや外づけ階段な めに、津波避難のための屋ス、外づけ階段、 場所として整備する分の経 どを設置する民間事業者等 事業の対象地域は、神奈

象となる工事の費用と避難

待できる⑤救命救急センタ|八月一日を予定している。

灯などの設置工事とする。

して機能することにより、

救命救急センター西側に位

補助額の算出方法は、対|救急部隊の円滑な運用が期

の調査報告書に係る市の対 ミュニティ活動事業用地取 について報告を受けた。 する補助制度-応④津波避難施設整備に対 得に関する調査特別委員会」 善行地区における地域コ ション事業②平成二十 --以上四件| る津波浸水予測図における |発表した、慶長型地震によ 辺部とする。 津波浸水予測区域内及び周 川県が平成二十四年三月に

円とする。

本制度の施行日は、二十

補助額とし、

上限は三千万

(市の説明)

る補助制度について ○津波避難施設整備に対す

置し、総合的に判断するこ

係各課による調整会議を設

市民等の生命を守り、津波| 地震等による津波災害から に対する不安を軽減するた

| ル指定要件を満たす建築物 等が津波発生時に一時的あ とを予定している。 きる建築物または工作物と 及び津波避難場所を確保で 対象施設は、津波避難ビ 対象事業者は、地域住民

この補助制度は、大規模 るいは緊急的に避難できる 施する者とする。 津波避難施設整備事業を実 事業について

対象経費は、屋上フェン

鵠南小学校 療に関する高いレベルの知|いない児童は何人か。 は、高度化する救急業務に 識や技術を得るための病院 救急ワークステーション

地震・津波を想定した避難訓練= 動することにより、救急現 る②医師が救急車に同乗出 実習時間の確保が可能とな じることなく、有効な病院 救急救命士が救急出動体制 事業の効果については、① ため、当直人員の不足が生 を維持しながら研修を行う

|キ、案内表示板、誘導照明 屋上デッ |の発生時には、医療機関と|れる。 の連絡調整ステーションと 上につながる④大規模災害 るため、救急隊員の能力向 現場や搬送中でも医師から なる― なお、建物は市民病院の

インクルー 全ての児童生徒に最適な教育を

較して、いずれか小さい額

に補助率を乗じて得た額を

五万円を乗じて得た額を比

し、新設、既設ともに対象 | 認定については、庁内の関 | では、議案一件を審査した。 |は、適用するものとする。| て可決すべきものと決定し| 〇平成二十五年度藤沢市一 行日前に着工し、竣工が施 | 員会では、議案二件を審査 五年七月一日とするが、施|催された。六月十四日の委 また、補助事業としての た。六月二十五日の委員会 その結果、議案は可決すべ |した。その結果、議案は全 六月十四日と二十五日に開 補正予算常任委員会は、 てはどうか。

行日後となる事業について

|○救急ワークステーション|般会計補正予算(第二号) を含む救急隊員が、救急医|をしていて、いまだ入れて 一は何人ふえるのか。また、 一きものと決定した。 湘南台地域で入園申し込み しぶやがはら保育園の定員 〇平成二十五年度藤沢市一 主な質問と答弁〉 移転に伴い新設する

|十人で二十人の増である。 百七十六人である。 また、入園待ちの児童数は 既存の保育園もまだ一たいと考えている。 られる教育を推進していき

実習を行う拠点となる施設|

救急ワークステーション

水防態勢の整備を図 災害対策等特別委員会-練を視 る

|の提供が可能となり、救命||ーにおいて実施された水防||場において高度な救急医療||藤沢市消防防災訓練センタ 五月二十四日に開催され、 災害対策等特別委員会は、 訓練を視察した。 び台風などに備え、発災時 この訓練は、集中豪雨及

|に迅速かつ的確に対応する|が行われた。

訓練(アルミボート組立) 袋詰栗石工法) ④人命救出

くことができ、病院実習以 |師等と顔の見える関係を築 識及び技術の習得が可能と 外でも救急医療に関する知 ーに隣接しているため、医 -以上五点が挙げら 藤沢

想の策定について

|き続き保育園として使用し|想については、素案に関す| 質問 インクルーシブ教育 |答弁 待機児童数を考慮し、 使用できると考えるが、 般会計補正予算(第四号) 分園という形も検討したい。 〈主な質問と答弁〉 引 パブリックコメントでは、一来の変化に柔軟に対応でき

答弁 新設園の定員は百四 |り、それが特別支援学校や|員等合計三百九十八人が参|の土砂集積所で二人一組に | 童生徒が適切な指導を受け |カウンセラー等の支援を得| 移動してきた低気圧がこの 指導教室の場合もある。ま 特別支援学級、または通級 育を受けることが大切であ |解しているが、見解を聞き|目的として実施されたもの|項目に従い、 答弁 児童生徒が最適な教 て学習するなど、全ての児 た通常学級の中でスクール 子も、ともに学ぶ場だと理 | 防態勢の整備を図ることを | 設置訓練から始まり、訓練 は、障がいのある子もない 加した。

| 洋沿岸付近に停滞し、東に 梅雨前線を刺激して、前夜 進んできた」という想定の 送・土のう積み)②内水排 もとに、①低地浸水防御訓 (土のう作成・土のう搬

市新庁舎建設基本構想を策定 施藤沢 5.再整備5.都心部 整備特別委員会心部再生・公共

置し、開設は平成二十五年の再整備について審査した。 沢市新庁舎建設基本構想の 沢都心部再生及び公共施設 | 見があった。基本構想への 月二十六日に開催され、藤 **○藤沢市新庁舎建設基本構** |を全面禁煙とし、屋外の喫 策定について審査を行った。 設再整備特別委員会は、六 この日の委員会では、藤 | 交流機能では、インターネ 藤沢都心部再生・公共施 意見の反映としては、市民 ット環境充実の検討を追記 関する考え方等について、 新庁舎の機能、建設計画 煙所設置の可否について検 し、執務機能では、庁舎内 十八人から七十五件の意

て、ユニバーサルデザイン

一十五日、

人にやさしい庁舎」とし

| 案に一部修正を加え基本構 | て、市民が利用しやすく、 や分科会等で再検討し、素|能的・効率的な庁舎」とし 施した後、庁内検討委員会 まれる庁舎」とし、①「機 るパブリックコメントを実 | 環境にやさしい市民に親し 想を策定した。 藤沢市新庁舎建設基本構

指すべき大項目として「人・

基本方針を設定した。

基本方針については、

目

討と修正を行った。

木事務所職員・建設業協会 よる作成指導のもと、所定 ため、水防技術の向上と水 和市職員・神奈川県藤沢土 で、市職員・消防団員・大 練が行われ、消防団員らに 訓練における土のう作成訓

強くなり、低地での浸水がし、パトロール車による住 から降りだした雨が一段と| 員及び大和市職員らが参加 除訓練(広報・排水ポンプ 「梅雨前線が日本の太平 | 成し、視察した当委員らも が行われた。また、排水ポ 状況確認を行い、災害対策 民広報を行いながら河川の では、県藤沢土木事務所職 この土のう作成に参加した。 ンプ操作訓練や照明用装置 本部に無線で報告する訓練 内水排除訓練の広報訓練

まちづくりを先導する庁舎 市民が愛着を持てる庁舎、 まり・交流しやすい庁舎、 る庁舎」として、市民が集 る庁舎②「市民に親しまれ | ワークショップを九月から 舎」として、緊急・災害時 ③「安全・安心を支える庁 年で実施し、進捗に合わせ ある。 科会でも検討を行う予定で て、庁内検討委員会や各分 実施していく。設計は二カ

決 決算特別委員会は、 算 特 別 委 員 六月 숲

の活動拠点となる庁舎④

舎建設における目指すべき 以上五点を柱として、新庁 慮した庁舎、省エネ・省資 舎」として、周辺環境に配 庁舎⑤「環境にやさしい庁 に配慮した誰にもやさしい された。 従来からの款別審査に加 |年度の決算審査については、 選した後、今後の進め方に ついて協議し、平成二十四 は、委員長、副委員長を互 え、事務事業評価を行うこ 六月二十五日の委員会で 七月八日に開催

源化を図るエコな庁舎

委員により構成される市民 いて協議した。 民公募及び各種団体選出の 設計を進めるとともに、市 新庁舎建設設計の建てかえ 刀針として、七月から基本 今後は、この基本構想を 事業評価-とを確認した。 審查要領②審查日割③事務 今後の審査方針に関し、① 七月八日の委員会では、 -以上三件につ

職員が働きやすい庁舎、将

午後二時の現地指揮本部

危険があるとの想定のもと 設置する訓練を実施した。 堰堤に栗石袋及び土のうを たトラックにより、 人命救出訓練では、消防|行われた。 決壊の |トを手際よく短時間で組み |団員らが四隻のアルミボ 揮本部の指示のもと順調に 立てるなど、各訓練とも指

が参加し、建設業協会のク 約千袋の土のうを作

消防団員によるアルミボート組立訓練=消防防災訓練センタ